

若年層における健康格差の見える化にむけた地域診断システムの可能性

研究分担者 齊藤 雅茂 (日本福祉大学 社会福祉学部 准教授)

研究要旨：本研究では、兵庫県A市における若年層（20歳以上65歳未満）対象調査データを活用し、若年層における健康格差の見える化にむけた地域診断システムの可能性を検討した。過去に開発した高齢者の健康格差の見える化を目的にした「JAGES 地域診断システム」をプラットフォームとし、若年層調査データを追加した。分析の結果、若年層においても、「友人10人以上」、「友人と会う頻度」、「趣味」、「スポーツ」、「学習・教養サークル」などといった他者との交流に「健康格差縮小」の可能性があることが示唆された。高齢者との比較では、多くの指標で年齢層を問わず同様の関連を示したが、高齢者よりも若年層で幸福や健康との関連がより強く示される指標も目立った。「喫煙」や「口腔機能低下」、「健診未受診」は、若年層においても幸福や健康を阻害するリスクがあることが示唆された。若年層と高齢者で異なった指標として、「地域活動参加意向」は、若年層のみで幸福感、健康度自己評価と正の相関があった。また、「独居者」、「孤食者」については、幸福は若年層と高齢者で同傾向だが、健康は若年層では相関がなく、「孤食」や「独居」の健康への影響は年齢層で異なることが示唆された。以上のことから、若年層でも地区単位での差（分散）が確認され、年齢層によるいくつかの相違に留意する必要があるものの、若年層においても高齢者と同様に、データに基づく地域診断によって健康格差を見える化することの有用性が示された。

A. 研究目的

日本老年学的評価研究（JAGES）プロジェクトでは、介護予防に取り組む地方自治体が現状や課題を「見える化」することを目的に、高齢者における健康の公平性評価・対応ツール「JAGES HEART」（地域マネジメント支援システム）を開発してきた（<https://www.jages.net/project/jagesheart/>）。なお、本システムは、WHOの「Urban HEART」（都市における健康の公平性評価・対応ツール）を参考とし、WHO神戸センターと連携して開発したものである。本システムは、その後、厚生労働省による「地域包括ケア『見える化』システム」のプロトタイプとしても活用されている。

本研究では、特定の自治体において、既存の「JAGES地域診断システム」に若年層を対象にした調査データを追加し、若年層における健康格差の見える化にむけた地域診断システムの可能性を検討した。

B. 研究方法

兵庫県A市で行った若年層調査結果（40指標）を既存の「JAGES 地域診断システム」に投入し、行政区毎（12の行政区比較）の「幸福感」および「健康度自己評価（健康感）」の2指標と他の38指標間の相関係数を算出し、若年層における、幸福感および健康度自己評価と関連の強い指標を確認した（調査の概要は参考資料1を参照）。

JAGES 高齢者調査と共通する指標（21指標）については、神戸市の高齢者調査（78の包括区比較）、

全国 40 市町の高齢者調査（40 市町比較）における同様の相関係数と比較し、若年層、高齢者の特徴を分析するとともに、「JAGES 地域診断システム」を幅広い世代での健康格差縮小に向けたツールとして活用する上での留意点を確認した。

なお、若年層データを投入した「JAGES地域診断システム」では、78のあんしんすこやかセンター比較も可能であったが、今回の回答人数では結果が安定しないと思われるため、若年層の分析では12の行政区比較を用いた。また、3つの調査の概要を末尾に記載した。

表 1：兵庫県 A 市における若年層の健康格差見える化にむけた地域診断指標群

	A市 独自	高齢 コア	高齢 重要	報告書表記	A市地域診断指標
1	共通	—	○	独居	独居者割合
2	○	—	—	有配偶	配偶者がいる人の割合
3	○	—	—	未婚	未婚者割合
4	共通	—	○	孤食	孤食者割合
5	共通	—	○	低所得	低所得者割合
6	共通	—	○	低学歴	低学歴者割合
7	○	—	—	高卒	高校卒者割合
8	○	—	—	大卒	大学卒者割合
9	○	—	—	経済苦	経済的に苦しい者の割合
10	○	—	—	経済苦（子供）	子どもの頃経済的に苦しかった者の割合
11	共通	—	○	健康感	主観的健康感が良い者の割合
12	共通	—	○	幸福感	幸福感がある者の割合
13	共通	○	—	口腔低下	口腔機能低下者割合
14	共通	○	—	残歯19以下	残歯数19本以下の者の割合
15	○	—	—	残歯20以上	残歯数20本以上の者の割合
16	共通	○	○	スポーツ	スポーツ関係のグループ参加者割合(月1回以上)
17	共通	○	○	趣味	趣味関係グループへの参加者割合(月1回以上)
18	共通	○	○	ボランティア	ボランティア活動への参加者割合(月1回以上)
19	共通	○	○	学習・教養	学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合
20	共通	○	○	特技・経験	特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合
21	○	—	—	町内会	町内会参加者(月1回以上)割合
22	○	—	—	運動週1超	週1日以上運動する人の割合
23	○	—	—	運動継続	運動を1年以上継続している人の割合
24	○	—	—	就労	仕事している人の割合
25	○	—	—	正規職員	常勤・正規職員者の割合
26	○	—	—	自営・家業	自営業・家業者の割合
27	共通	—	○	非就労	就労していない者の割合
28	○	—	—	休日勤務	休日勤務（5日以上/月）
29	○	—	—	深夜労働	深夜労働（5日以上/月）
30	○	—	—	残業	残業時間（20時間以上/月）
31	共通	○	○	友人頻度	友人と会う頻度月1回以上の割合
32	共通	○	○	友人0~2	交流する友人（0~2人）がいる者の割合
33	共通	○	○	友人3~9	交流する友人（3~9人）がいる者の割合
34	共通	○	○	友人10超	交流する友人（10人以上）がいる者の割合
35	共通	—	○	地域活動	地域活動の参加意向がある者の割合
36	共通	—	○	喫煙者	喫煙者の割合
37	○	—	—	喫煙5年超	5年以上喫煙している者の割合
38	○	—	—	飲酒	飲酒者の割合
39	共通	—	○	健診未受診	健診(1年以内)未受診者割合
40	○	—	—	歯科検診	1年間に歯科検診を受けている者の割合
以上の、共通21指標 + 独自19指標 = 40指標					
なお、報告書では、残歯20以上は除いた。（残歯19以下があるため）					

(倫理面への配慮)

本研究は、厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等を遵守し、個人情報（氏名や住所など個人が特定できるもの）を削除したデータを用いた。神戸市の倫理審査委員会にて承認された「JAGES プロジェクト-若年層および高齢者の健康とくらしに関する疫学研究-」データの二次利用、および国立研究開発法人国立長寿医療研究センター（992、1244）の倫理・利益相反委員会で承認を受けて研究を行った。

C. 研究結果

1) 若年層における幸福感・健康度自己評価の関連要因

神戸地域診断指標39（残歯20以上除く）指標のうち、幸福感および健康度自己評価（健康感）のいずれとも、相関が強い（相関係数±0.6以上）指標は、社会経済的指標（「大卒」、「低学歴」、「経済苦」等）の他、正の相関で、「地域活動」、

「学習・教養サークル」、「友人10人超」、「友人と会う頻度」、「有配偶」、負の相関で「残歯数19本以下」、「交流する友人0-2人」、「喫煙」、「口腔機能低下」等であった。

幸福感または健康度自己評価のいずれかと相関の強い指標では、「ボランティア」、「スポーツ」は幸福感と、「飲酒」は健康度自己評価と正の相関が強かった。一方、負の相関では、「運動1年以上」、「町内会」は健康度自己評価と負の相関が強かった。（表2）

表2：兵庫県A市における地域単位の幸福感・健康度自己評価の関連（地域相関分析）

	幸福感との相関順				健康感との相関順			
	若年層全体(A市) 202005修正				若年層全体(A市) 202005修正			
	△は正相関0.3以上、▲は0.6以上。 ▽は、負相関-0.3以下、▼は-0.6以下。				△は正相関0.3以上、▲は0.6以上。 ▽は、負相関-0.3以下、▼は-0.6以下。			
A市地域診断指標【略表記】(赤字は若年独自項目)	幸福感との相関順	健康感との相関順		A市地域診断指標【略表記】(赤字は若年独自項目)	幸福感との相関順	健康感との相関順		
幸福感	1	▲ 0.778		健康感	▲ 0.778	1		
地域活動	▲ 0.931	▲ 0.888		大卒	▲ 0.888	▲ 0.928		
大卒	▲ 0.888	▲ 0.928		地域活動	▲ 0.931	▲ 0.888		
学習・教養	▲ 0.883	▲ 0.686		幸福感	1	▲ 0.778		
友人10超	▲ 0.807	▲ 0.663		友人頻度	▲ 0.605	▲ 0.743		
有配偶	▲ 0.78	▲ 0.48		趣味の会	▲ 0.728	▲ 0.736		
健康感	▲ 0.778	1		学習・教養	▲ 0.883	▲ 0.686		
趣味の会	▲ 0.728	▲ 0.736		友人10超	▲ 0.807	▲ 0.663		
ボランティア	▲ 0.698	△ 0.34		飲酒	▲ 0.202	▲ 0.642		
スポーツ	▲ 0.677	△ 0.311		正規職員	△ 0.572	△ 0.577		
友人頻度	▲ 0.605	▲ 0.743		残業	△ 0.538	△ 0.564		
正規職員	△ 0.572	△ 0.577		運動週1	△ 0.449	△ 0.551		
残業	△ 0.538	△ 0.564		友人3-9	△ 0.253	△ 0.52		
歯科検診	△ 0.502	△ 0.478		有配偶	▲ 0.78	△ 0.48		
運動週1	△ 0.449	△ 0.551		歯科検診	△ 0.502	△ 0.478		
友人3-9	△ 0.253	△ 0.52		ボランティア	▲ 0.698	△ 0.34		
飲酒	▲ 0.202	▲ 0.642		スポーツ	▲ 0.677	△ 0.311		
非就労	▲ 0.157	▲ 0.057		非就労	▲ 0.157	▲ 0.057		
就労	▲ 0.157	-0.057		自営	▽ -0.448	▲ 0.032		
特技・経験	-0.034	-0.019		独居	▽ -0.335	▲ 0.021		
休日勤務	▽ -0.322	▼ -0.607		特技・経験	▽ -0.034	-0.019		
独居	▽ -0.335	▲ 0.021		孤食	▽ -0.543	-0.054		
運動1年	▽ -0.382	▼ -0.734		就労	▲ 0.157	-0.057		
町内会	▽ -0.396	▼ -0.813		未婚	▽ -0.599	▽ -0.304		
自営	▽ -0.448	▲ 0.032		健診未受診	▼ -0.778	▽ -0.5		
孤食	▽ -0.543	-0.054		深夜労働	▼ -0.821	▽ -0.596		
未婚	▽ -0.599	▽ -0.304		休日勤務	▽ -0.322	▼ -0.607		
喫煙5年超	▼ -0.727	▼ -0.789		口腔機能低下	▼ -0.733	▼ -0.617		
口腔機能低下	▼ -0.733	▼ -0.617		喫煙	▼ -0.878	▼ -0.705		
健診未受診	▼ -0.778	▽ -0.5		低学歴	▼ -0.922	▼ -0.706		
深夜労働	▼ -0.821	▽ -0.596		低所得	▼ -0.892	▼ -0.712		
喫煙	▼ -0.878	▼ -0.705		運動1年	▽ -0.382	▼ -0.734		
経済苦	▼ -0.884	▼ -0.778		経済苦	▼ -0.884	▼ -0.778		
低所得	▼ -0.892	▼ -0.712		喫煙5年超	▼ -0.727	▼ -0.789		
友人0-2	▼ -0.892	▼ -0.927		経済苦(子供)	▼ -0.919	▼ -0.811		
経済苦(子供)	▼ -0.919	▼ -0.811		町内会	▽ -0.396	▼ -0.813		
低学歴	▼ -0.922	▼ -0.706		残歯19以下	▼ -0.925	▼ -0.838		
残歯19以下	▼ -0.925	▼ -0.838		友人0-2	▼ -0.892	▼ -0.927		

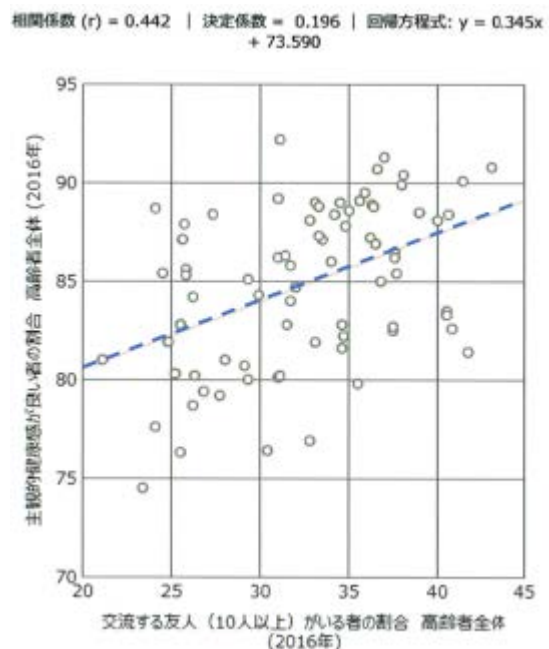
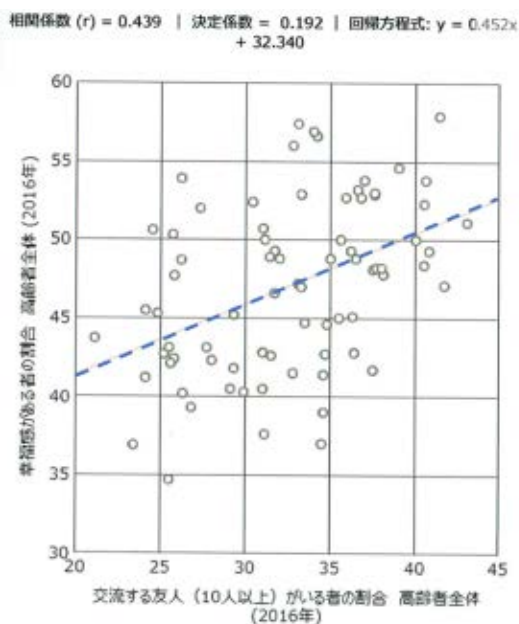
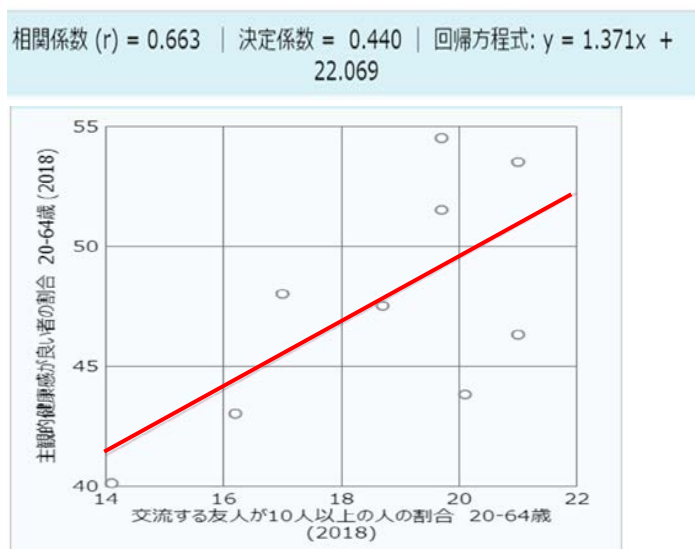
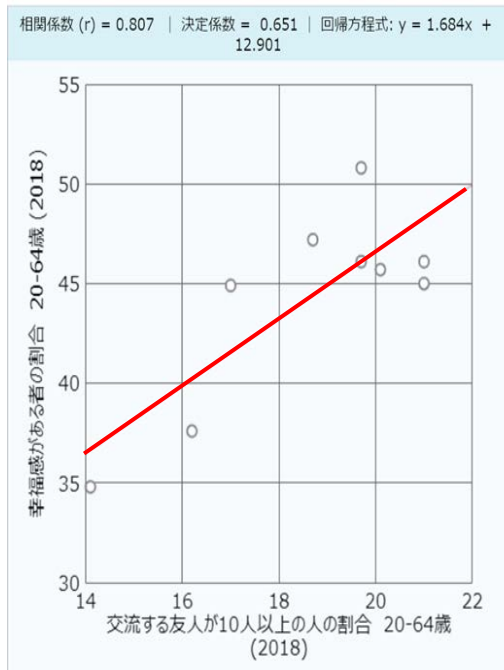
2) 高齢者との比較

神戸地域診断指標39指標のうち、高齢者地域診断指標と共通する21指標について、年代間で、幸福感および健康度自己評価との相関に相違があるかを比較した。21指標のうち、多くは若年層と高齢者で同様の相関を示したが、いくつかの指標では若年層と高齢者で異なる傾向が読み取れた。以下の分析は、神戸市の若年層と高齢者の相関の分布をグラフ化し行った。（高齢者（全国）を含む全指標の結果は参考資料2（章末）を参照）

① 社会関係指標

「交流する友人数（10人以上）」については、若年層・高齢者にかかわらず、幸福感および健康度自己評価と正の相関関係があり、とくに若年層で強い相関関係が認められた。なお、交流する友人数が10人以上の割合自体は、若年層の方が高齢者よりも小さくなっていった（図1）。

図1：交流する友人が10人以上いる人の割合と幸福感・健康度自己評価との関連



「独居者の割合」については、幸福感については若年層と高齢者で同傾向だが、健康度自己評価は若年層での相関はなかった。なお、「独居者の割合」は、高齢者と比べて若年層では少なくなっていた（図2）。「孤食者の割合」についても、同様の傾向で、若年層では健康度自己評価との相関はなかった（図3）。なお、「孤食者」の割合は、年代によって顕著な差はみられなかった。

図2：独居者割合と幸福感・健康度自己評価との関連

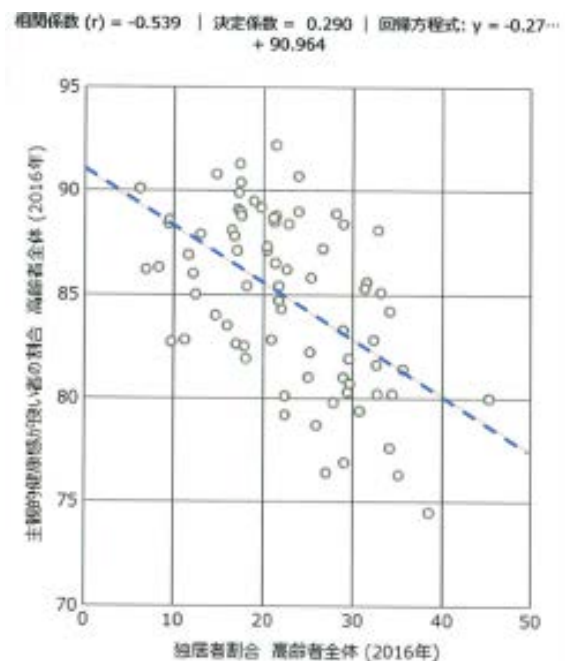
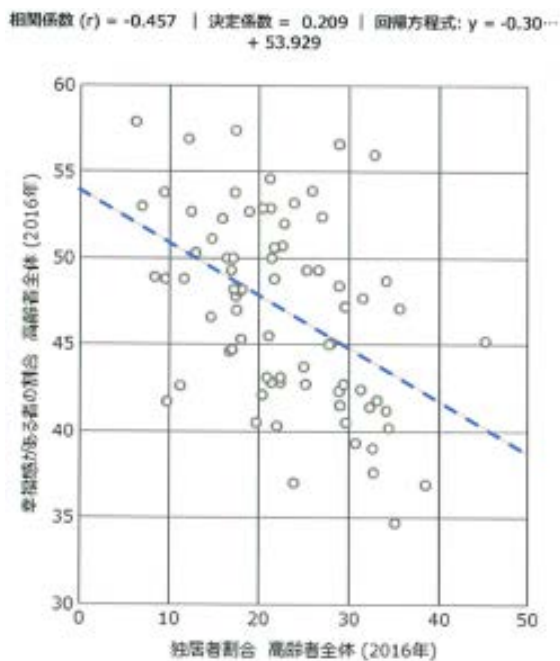
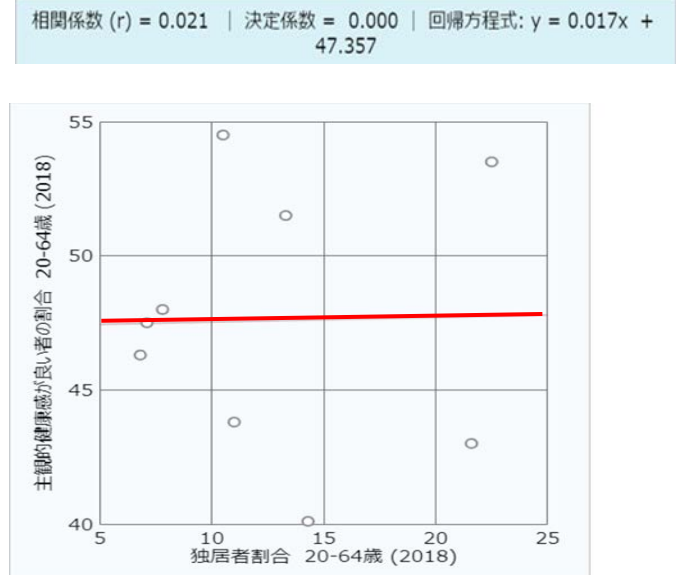
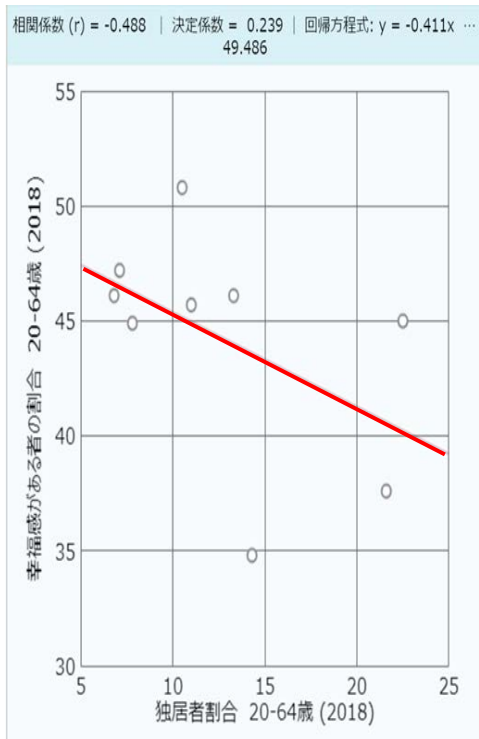
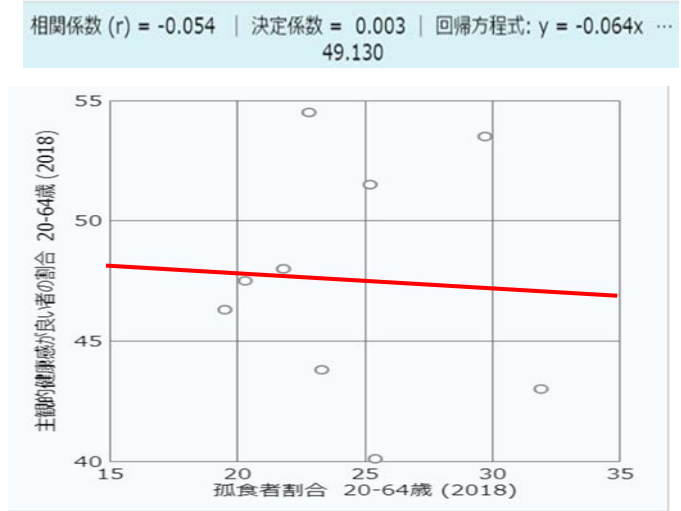
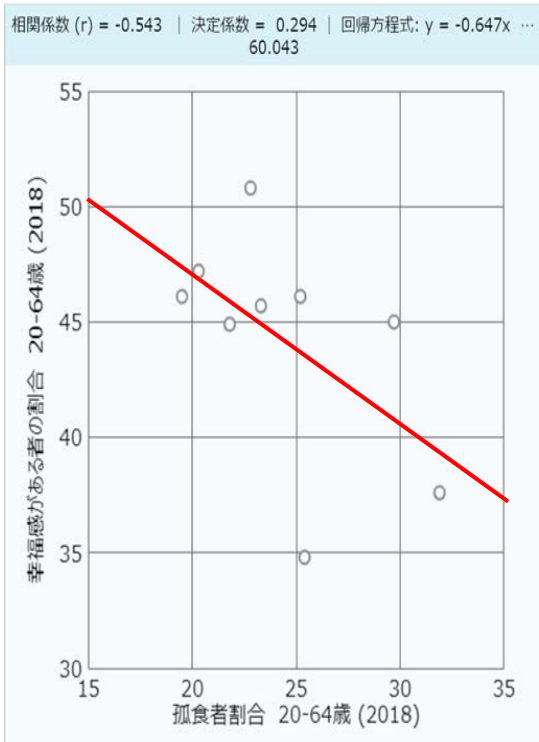
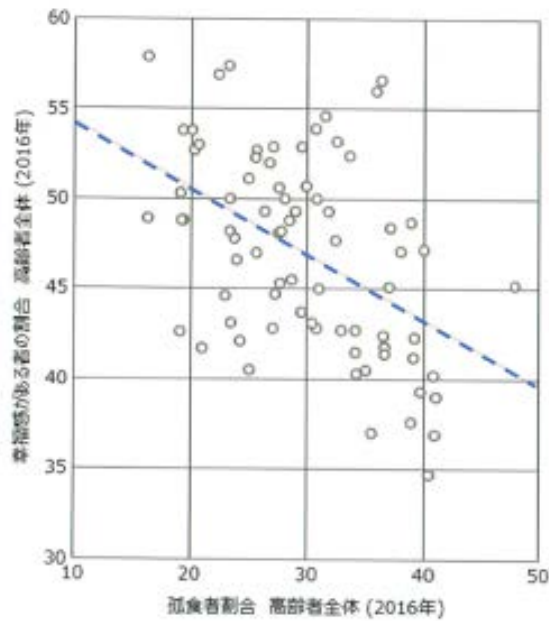


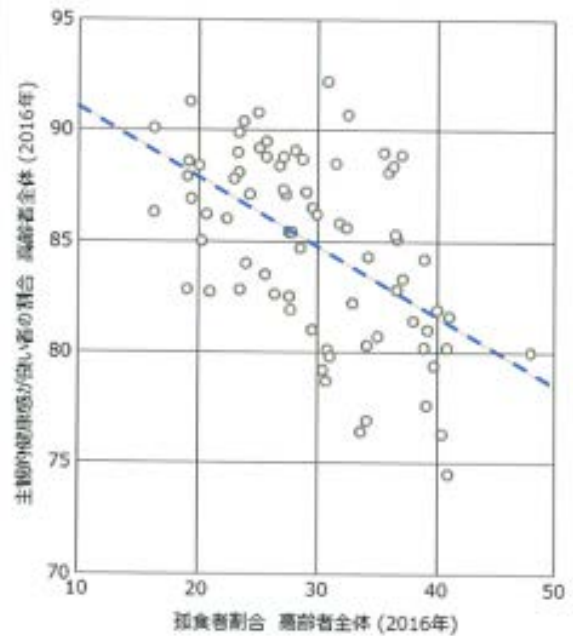
図3：孤食者割合と幸福感・健康度自己評価との関連



相関係数 (r) = -0.475 | 決定係数 = 0.226 | 回帰方程式: $y = -0.36x + 57.999$



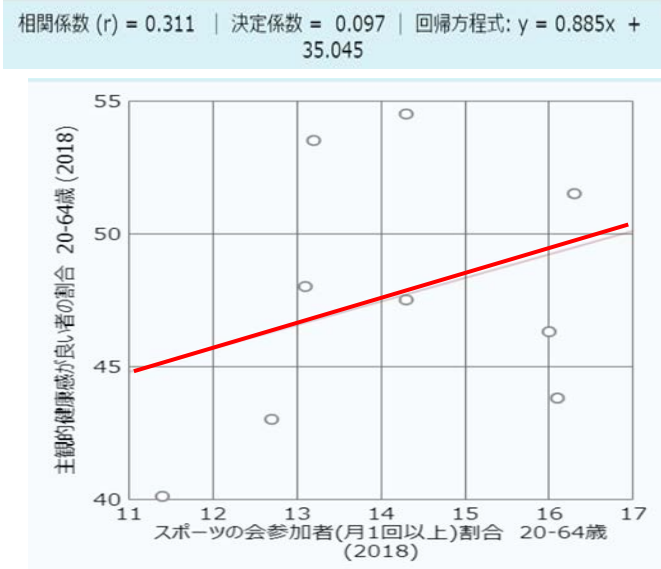
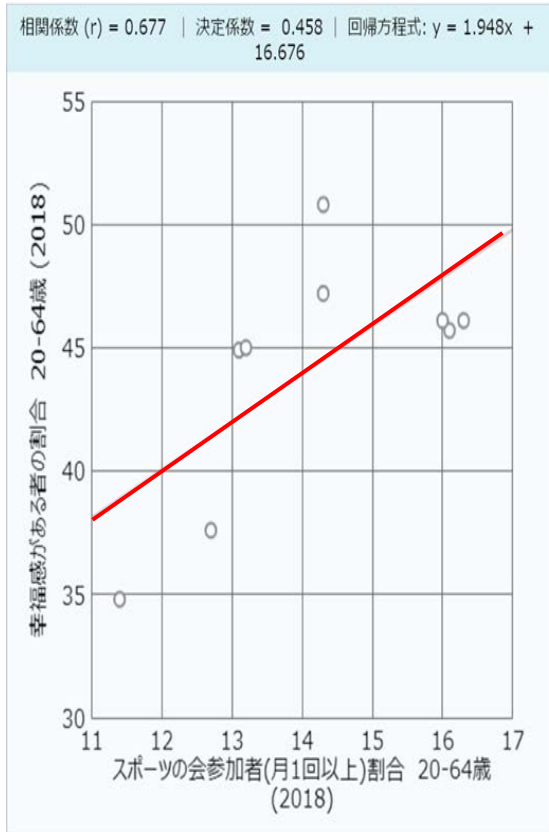
相関係数 (r) = -0.542 | 決定係数 = 0.294 | 回帰方程式: $y = -0.31x + 94.283$



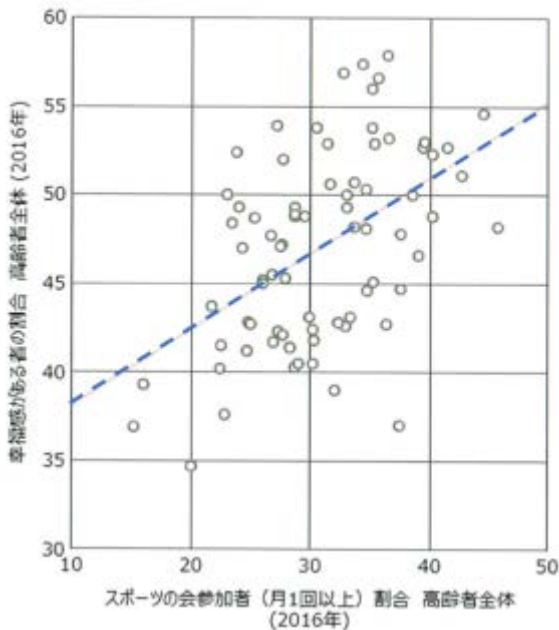
② 社会参加指標

「スポーツの会参加者（月1回以上）割合」は、若年層・高齢者に関わらず、幸福感・健康度自己評価と強いまたはやや強い正の相関を示したが、若年層では幸福感と、高齢者では健康度自己評価との相関が強かった。なお、スポーツの会参加者（月1回以上）の割合は、若年層の方が高齢者よりも小さくなっていた（図4）。

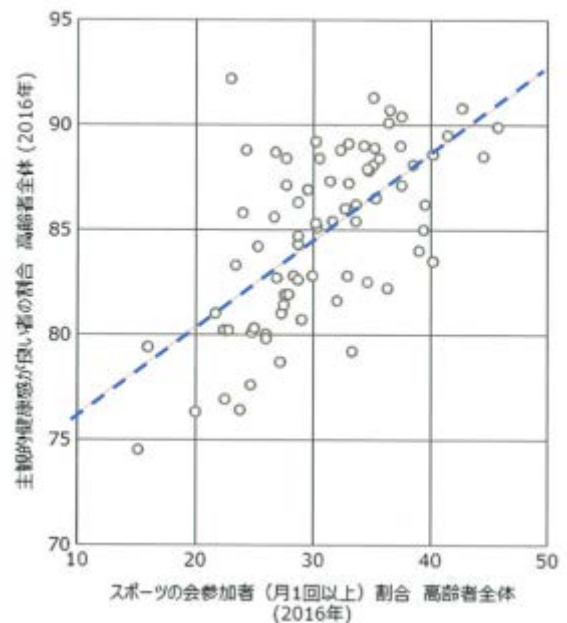
図4：スポーツの会参加者割合と幸福感・健康度自己評価との関連



相関係数 (r) = 0.496 | 決定係数 = 0.246 | 回帰方程式: $y = 0.428x + 33.843$



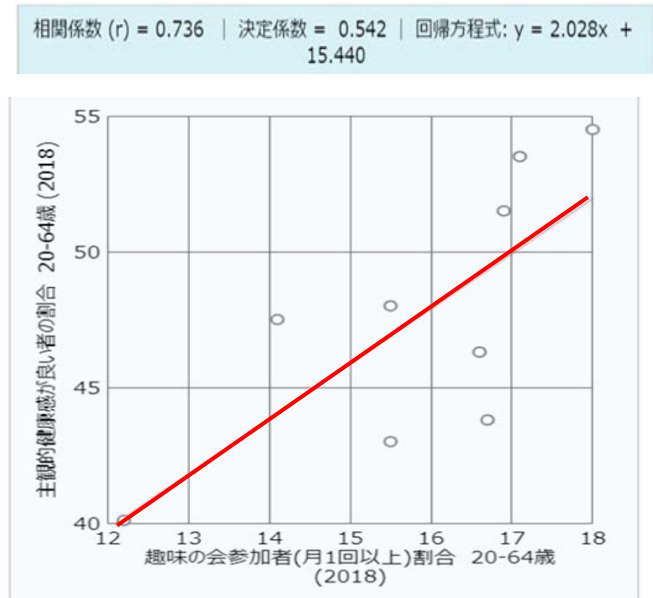
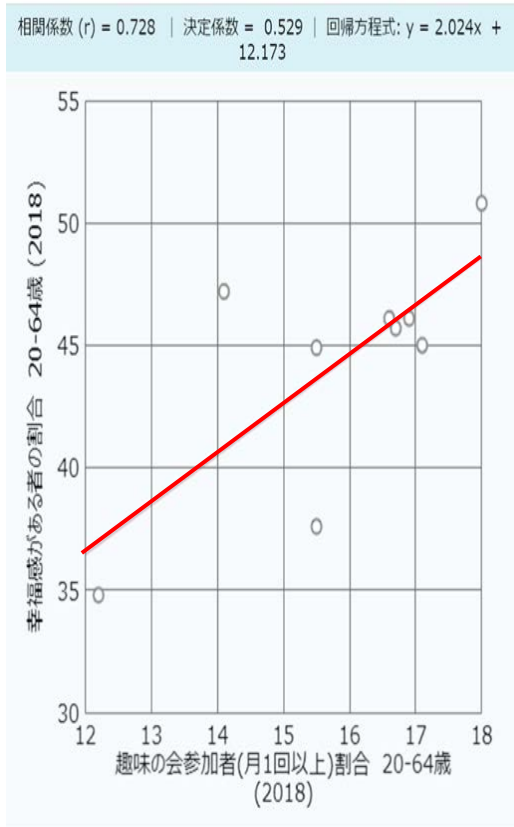
相関係数 (r) = 0.633 | 決定係数 = 0.401 | 回帰方程式: $y = 0.413x + 72.074$



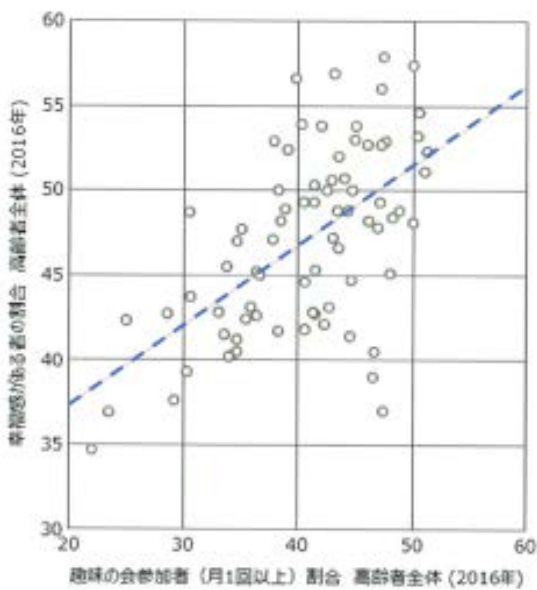
「趣味関連のグループへの参加者（月1回以上）割合」についても、若年層、高齢者ともに幸福感、健康度自己評価と強い正の相関を示したが、その傾向は若年でより強い結果であった

（図5）。「趣味関連のグループへの参加者（月1回以上）」の割合でも、高齢層と比べて、若年層では顕著に小さくなっていた。

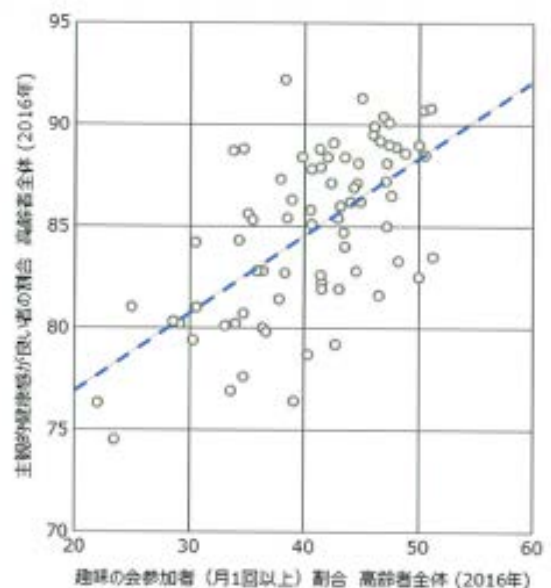
図5：趣味関係のグループへの参加者割合と幸福感・健康度自己評価との関連



相関係数 (r) = 0.578 | 決定係数 = 0.334 | 回帰方程式: $y = 0.471x + 27.872$

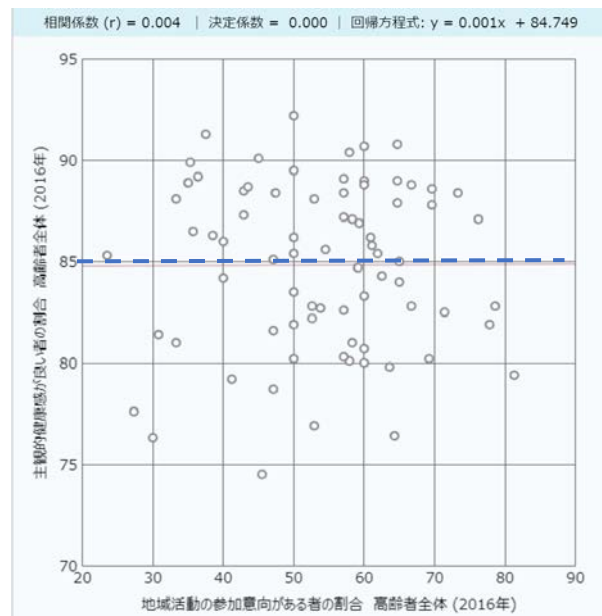
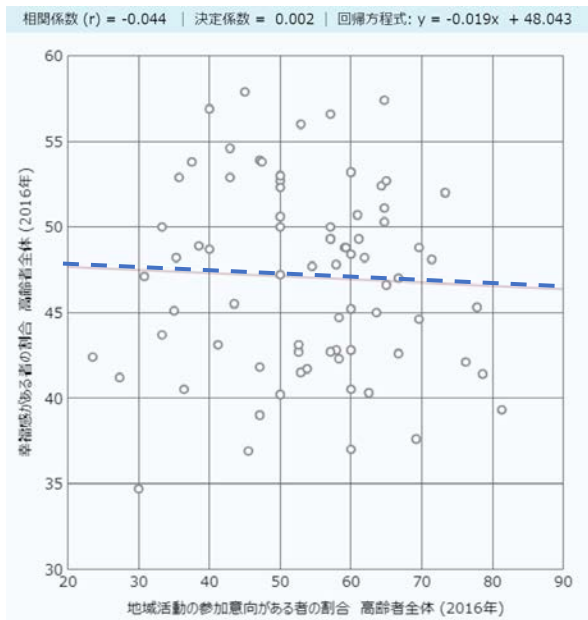
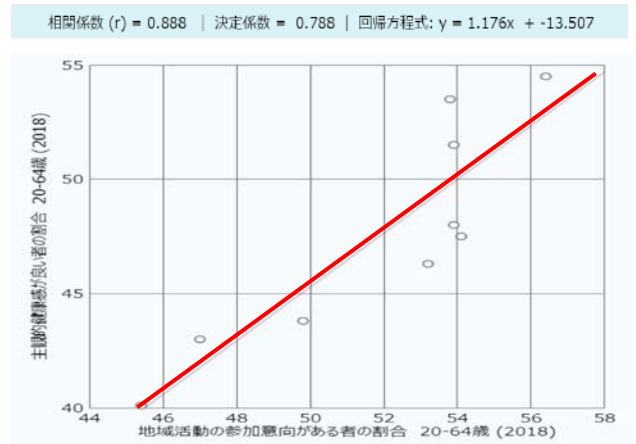
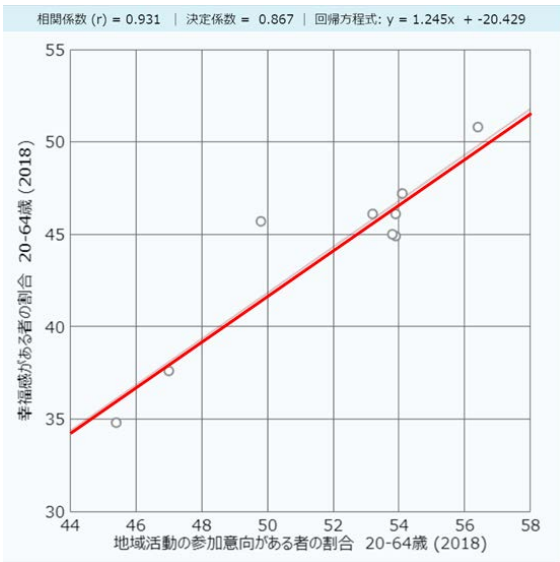


相関係数 (r) = 0.620 | 決定係数 = 0.385 | 回帰方程式: $y = 0.383x + 69.243$



「地域活動参加意向者割合」については、若年層でのみ、幸福感および健康度自己評価と強い正の相関を示した（図6）。「地域活動参加意向者割合」は、高齢者で地域間の分散が大きい点には留意する必要がある。

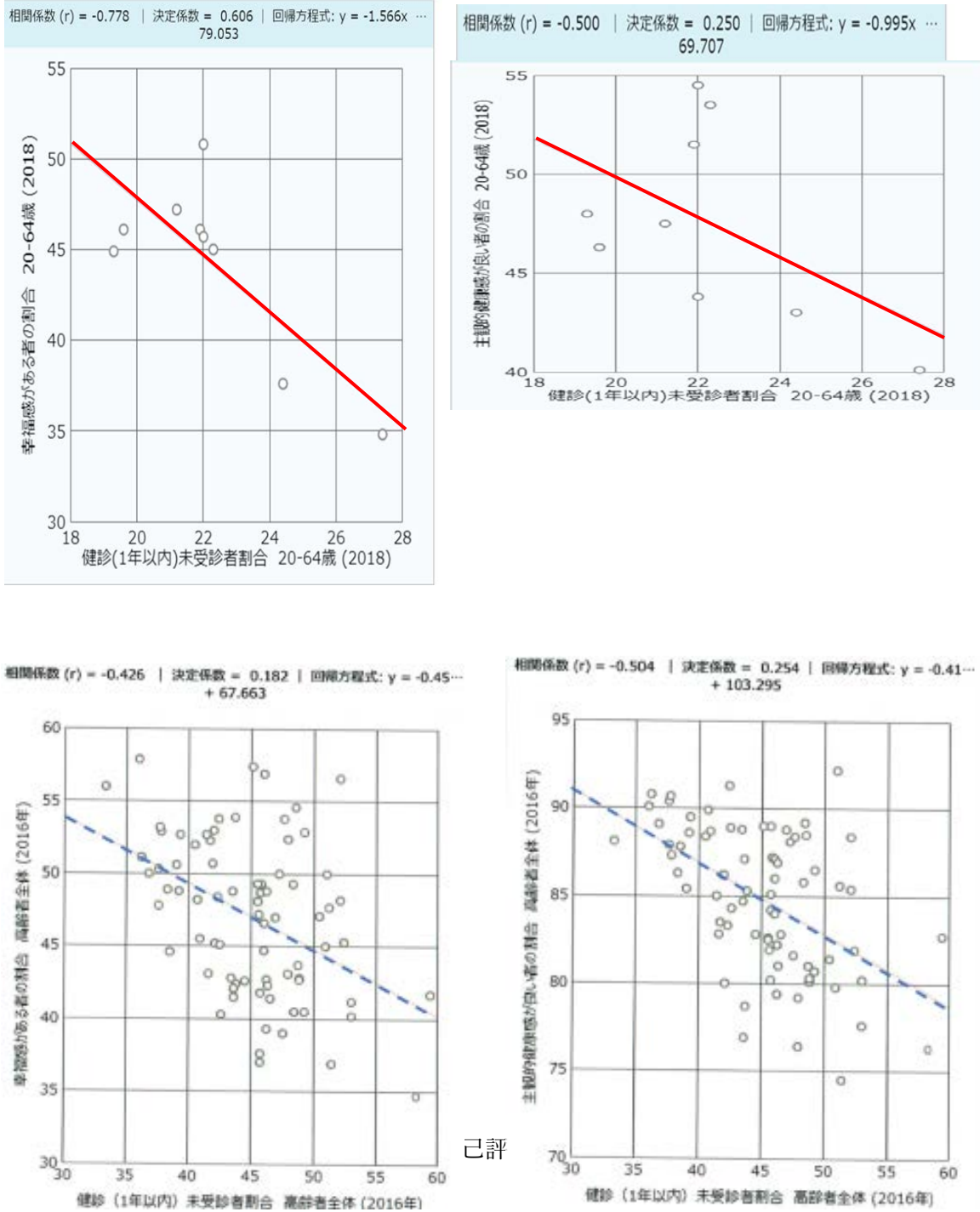
図6：地域活動の参加者意向者割合と幸福感・健康度自己評価との関連



③ 健診・残歯数

「健診（1年以内）未受診者割合」については、若年層・高齢者に関わらず、幸福感および健康度自己評価と負の相関を示していた。若年層では、特に幸福で強い負の相関であった。「健診（1年以内）未受診者」の割合は、若年層の方が高齢者をかなり下回っていた。（図7）。

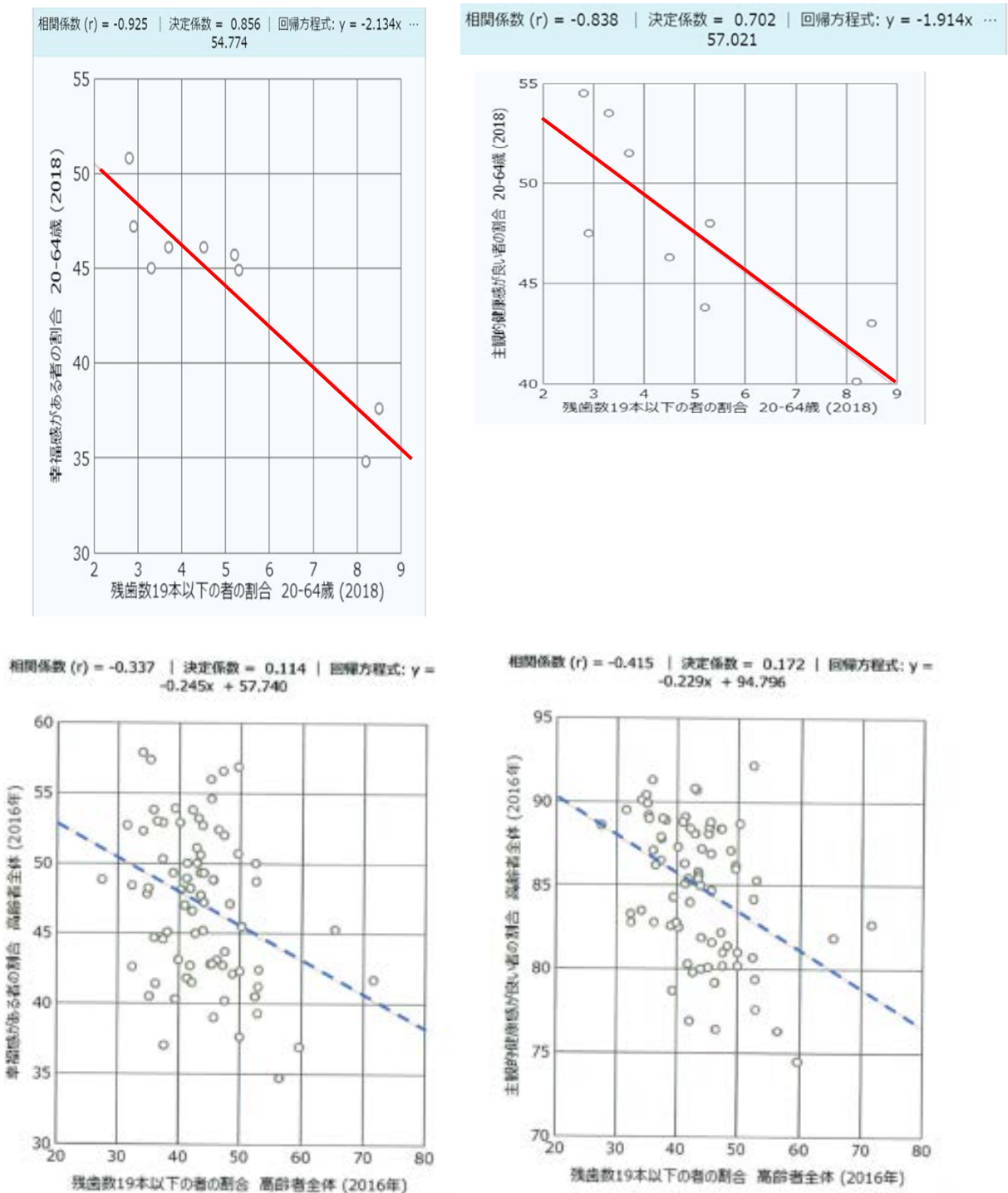
図7：健診未受診割合と幸福感・健康度自己評価との関連



己評

「残歯19本以下の者の割合」については、若年層では、幸福感および健康度自己評価と強い負の相関関係、高齢者ではやや強い負の相関を示していた。ただし、「残歯19本以下の者の割合」は、若年層と高齢者で大きく異なる点には留意する必要がある（図8）

図8：残歯19本以下の者の割合と幸福感・健康度自己評価との関連



D. 考 察

1) 若年層における地域診断指標の分析

若年層においても、地域単位での社会経済的な指標は幸福感や健康度自己評価と強い相関関係が認められた。具体的には、「大学卒」、「正規職員」は正の相関関係、「低学歴」、「低所得」は負の相関関係が認められた。

また、社会経済指標以外では、「地域活動参加意向」、「学習・教養サークル」、「趣味関係」、「友人10人以上」、「友人と会う頻度」、「有配偶」で正相関が強く、「残歯19本以下」、「交流する友人（0～2人）」、「喫煙」、「口腔機能低下」では負の相関が強かった。この他、「スポーツ」は健康度自己評価より幸福感と、「飲酒」は幸福感より健康度自己評価と正の相関が強かった。また、負の相関では、「運動1年超」、「町内会」、は健康度自己評価と負の相関が強かった。

これらの結果から、若年層においても、「友人10人以上」、「友人と会う頻度」、「地域活動参加意向」、「学習・教養サークル」、「趣味関係」、「スポーツ」などといった他者との交流に「健康格差縮小」の可能性があることが示唆された。また、「飲酒」よりも「喫煙」に、健康を阻害するリスクが大きいことも示唆された。

2) 年齢層による相違点

若年層、高齢者ともに「交流する友人（10人以上）」の割合が幸福感、健康度自己評価が高い人の割合と正の相関を示したように、多くの指標が年代に関わらず同様の関連を示すことが明らかになった。「孤食」や「独居」には年齢層による違いがあった。若年層でも高齢者と同様に「孤食者」の割合が多いほど幸福感が低い地区であることが示されたが、健康度自己評価については高齢者と異なり相関がなかった。「独居者」の割合も若年層では健康度自己評価との関連はなく、「孤食」や「独居」の健康への影響は、若年層と高齢層とで異なることが示唆された。

年代により、各指標に該当する割合が大きく異なる点にも留意する必要がある。交流する友人（10人以上）の割合や、スポーツや趣味への参加者の割合は、高齢者に比べ若年層では極端に低かった。健診受診率や、当然のことながら残歯数にも、年齢差は大きかった。これらには、年齢が直接もたらすものに加え、若年層で就業している者の割合（行政区により85-92%）が高齢者（包括区により15-35%）より高いことが影響しているものと考えられる。これらのことから、「健康格差縮小」のためには、若年層に適した対策とそれを浮き彫りにするための新たな指標の開発が必要になることも示唆された。

E. 結 論

若年層でも地区により地域診断指標に差があることが明らかになったことから、地域診断システムを応用することが、健康格差縮小に向け有用となる可能性があることが示唆された。一方、幸福感や健康度自己評価と関連する指標の一部は、若年層と高齢層では傾向が異なっており、若年層に適した新たな診断指標が必要になることも示唆された。このためには、十分なサンプルを確保したうえでさらなる検証が必要と考えられる。以上のことから、年齢層によるいくつかの相違に留意する必要があるものの、若年層においても高齢者と同様に、データに基づく地域診断によって健康格差を見える化するものの有用性が示された。

F. 研究発表

とくになし

G. 知的財産権の出願・登録状況

とくになし

参考資料1 使用した調査データの概要

1) 若年層調査

対象地域：兵庫県A市

調査対象者：平成 30 年8月1日時点で20歳以上 65 歳未満の方

対象者数：20,000 人

調査方法：郵送法

調査時点：平成 30年8月

回収結果（回収率）：6,666 票（33.3%）

2) A市高齢者調査

対象地域：兵庫県A市

調査対象者：平成 28 年 4 月 1 日時点で 65 歳以上である要介護（要支援）認定を受けていない一般高齢者

対象者数：15,978 人

調査方法：郵送法

調査時点：平成 28 年 11 月～平成 28 年 12 月

回収結果（回収率）：12,088 票（75.7%）

3) 全国高齢者調査

対象地域：全国 19 都道府県 34 介護保険者 39 市町

調査対象者：平成28年4月1日時点で、65 歳以上である要介護（要支援）認定を受けていない一般高齢者

対象者数：279,661 人

調査方法：郵送法

調査時点：平成 28 年 10月～平成 28 年 12月

回収結果（回収率）：196,438 票（70.2%）.

参考資料 2 地域診断指標間の相関 (全体)

【若年層における 幸福感との相関順】 △は正相関0.3以上、▲は0.6以上。 ▽は、負相関-0.3以下、▼は-0.6以下。	A市地域診断指標 (赤字は若年独自 項目)		若年層全体(A市) 202005修正		高齢者全体(A市)		高齢者全体(全国)		若年と高齢者の比較(◎は、注目指標)					
	幸福感との相関順		幸福感	健康感	幸福感	健康感	幸福感	健康感						
幸福感がある者の割合	幸福感	1	△	0.778	-	1	△	0.538	-	1	△	0.513	同傾向	
地域活動の参加意向がある者の割合	地域活動	▲	0.931	▲	0.888	-	0.044	0.004	0.201	0.155	◎若年層のみ強い相関			
大学卒者割合	大学卒	▲	0.888	▲	0.928									
学習・教養サークル参加者(月1回以上)割合	学習・教養	▲	0.883	▲	0.686	△	0.318	△	0.377	▲	0.633	◎同傾向だが、若年層に顕著		
交流する友人(10人以上)がいる者の割合	友人10超	▲	0.807	▲	0.663	△	0.439	△	0.273	△	0.305	◎同傾向だが、若年層に顕著		
配偶者がいる人の割合	有配偶	▲	0.78	△	0.48									
主観的健康感が良い者の割合	健康感	▲	0.778	-	1	△	0.538	-	1	△	0.513	-	1	同傾向だが、若年層に顕著
趣味関係参加者割合(月1回以上)	趣味の会	▲	0.728	▲	0.736	△	0.578	△	0.62	▲	0.628	▲	0.759	◎同傾向だが、若年層に顕著
ボランティア活動への参加者割合(月1回以上)	ボランティア	▲	0.698	△	0.34		0.019	0.163	△	0.496	△	0.573	若年層に顕著だが、高齢者全国とは同傾向	
スポーツ関係のグループ参加者割合(月1回以上)	スポーツ	▲	0.677	△	0.311	△	0.496	▲	0.633	▲	0.634	▲	0.76	◎同傾向だが、若年層は幸福と高齢者は健康と相関強い
友人と会う頻度	友人頻度	▲	0.605	▲	0.743	△	0.307	0.252	-0.012	-0.223	同傾向だが、若年層に顕著。高齢者全国は逆向きの弱い相関。			
常勤・正社員者の割合	正規職員	△	0.572	△	0.577									
残業時間(20時間以上/月)	残業	△	0.538	△	0.564									
1年間に歯科検診を受けている者の割合	歯科検診	△	0.502	△	0.478									
週1日以上運動する人の割合	運動週1	△	0.449	△	0.551									
交流する友人(3~9人)がいる者の割合	友人3-9		0.253	△	0.52		-0.165	-0.096	-0.2	▽	-0.433	若年層のみ正の相関あり		
飲酒者の割合	飲酒		0.202	▲	0.642									
就労していない者の割合	非就労		0.157	0.057	△	0.377	△	0.359	0.188	△	0.399	高齢者で弱い正の相関		
仕事している人の割合	就労		0.157	-0.057										
特技や経験を他者に伝える活動参加者(月1回以上)割合	特技・経験		-0.034	-0.019	△	0.314	△	0.281	△	0.449	△	0.782	高齢者で弱い正の相関	
休日勤務(5日以上/月)	休日勤務	▽	-0.322	▼	-0.607									
独居者割合	独居	▽	-0.335	0.021	▽	-0.457	▽	-0.539	▽	-0.47	▽	-0.376	◎幸福感は同傾向だが、若年層は健康感との相関なし	
運動を1年以上継続している人の割合	運動1年	▽	-0.382	▼	-0.734									
町内会参加者(月1回以上)割合	町内会	▽	-0.396	▼	-0.813									
自営業・家業者の割合	自営	▽	-0.448	0.032										
孤食者割合	孤食	▽	-0.543	-0.054	▽	-0.475	▽	-0.542	▽	-0.378	-0.211	◎幸福感は同傾向だが、若年層は健康感との相関なし		
未婚者割合	未婚	▽	-0.599	▽	-0.304									
5年以上喫煙している者の割合	喫煙5年超	▼	-0.727	▼	-0.789									
口腔機能低下者割合	口腔機能低下	▼	-0.733	▼	-0.617	▽	-0.323	▽	-0.446	▼	-0.714	◎同傾向だが、若年層に顕著		
健診(1年以内)未受診者割合	健診未受診	▼	-0.778	▽	-0.5	▽	-0.426	▽	-0.504	▽	-0.37	同傾向		
深夜労働(5日以上/月)	深夜労働	▼	-0.821	▼	-0.596									
喫煙者の割合	喫煙	▼	-0.878	▼	-0.705		-0.415	-0.34	-0.12	-0.233	◎同傾向だが若年層に顕著			
経済的に苦しい者の割合	経済苦	▼	-0.884	▼	-0.778									
低所得者割合	低所得	▼	-0.892	▼	-0.712	▽	-0.563	▽	-0.56	▽	-0.355	-0.287	同傾向だが、若年層に顕著	
交流する友人(0~2人)がいる者の割合	友人0-2	▼	-0.892	▼	-0.927	▽	-0.318	▽	-0.373	-0.116	0.017	◎同傾向だが、若年層に顕著		
子どもの頃経済的に苦しかった者の割合	経済苦(子供)	▼	-0.919	▼	-0.811									
低学歴者割合	低学歴	▼	-0.922	▼	-0.706	▽	-0.558	▼	-0.631	▼	-0.579	同傾向だが、若年層に顕著		
残歯数19本以下の者の割合	残歯19以下	▼	-0.925	▼	-0.838	▽	-0.337	▽	-0.415	▼	-0.448	▼	-0.685	同傾向だが、若年層に顕著

↑濃色は、若年層で幸福感、健康度自己評価ともに関係数±0.6超の指標